飛馬ふじの取組が優秀賞に輝く

JA SOUMA

TOPICS

今月もＪＡ相馬村のホットニュースをお届け！農業の明るい未来を目指して日々前進。行け！行け！飛馬！

北海道・東北ブロック代表として三上拓哉指導員が力強く発表

ＪＡ営農指導実践全国大会

２月22日、東京都千代田区で平成29年度ＪＡ営農指導実践全国大会が開催され、当ＪＡ農業振興課の三上拓哉指導員が優秀賞を受賞した。

今大会では、全国の各ブロックから選ばれた8名によって優れた産地振興や技術普及等の取組について発表された。当ＪＡは、飛馬ブランドの確立と農業所得向上を目標に取組んできた飛馬ふじについて発表し、審査員をはじめとする多くの参加者から高い評価を受けた。また、２日目のパネルディスカッションでは、営農指導員のレベル向上と取組の共有を目的に意見交換され、飛馬ふじについても大きな注目を集めた。

300名を超える大観衆を前に発表

表彰された優秀な営農指導員ら

名古屋のスーパーで好評

2月17日から2日間、愛知県名古屋市の「フィール」5店舗にて飛馬リンゴの消費宣伝を行った。

「フィール」は、このキャンペーンにとても力を入れており、店内の凝った飾り付けはたくさんのお客様の目を引いていた。また、試食コーナーではお客様全員から美味しいとの声を頂いたほか、「相馬のリンゴは美味しくて有名ですよね。」と、試食をしないで買ってくださる方や10kgダンボール1箱で買っていくお客様もいるほど好評だった。

凝った飾り付けがたくさんの消費者の目を引く

青天の霹靂をPR

2月24日、愛知県名古屋市の星が丘三越で「青天の霹靂」の試食販売が開催され、青森県の米生産者を代表して山内芳宏さん（五所地区）が店頭でPRした。

買い求めるお客様からは「斬新な品種名！サッパリとした味わいが旨い。」など大きな評価を受けたほか、CMなどの活用で消費者からの認知度が高かったことが伺えた。

星が丘三越で「青天の霹靂」の美味しさをアピール

第54回女性部通常総会

2月25日、弘前市立中央公民館「長慶閣」で第54回女性部通常総会が開催され、今年度も全議案が無事承認された。部員数の減少が懸念される一方で、総会参加率73%と高く、ここ3年間で一番多い出席率となった。また、総会後は、防災士の藤本源城氏を招き、「災害から尊い命を守る」と題して講演が行われ、災害への備えについて消火器の使い方や応急手当、避難所の生活などが幅広く紹介された。

あなたも女性部の一員として活躍しませんか

自己改革への姿勢強化

3月7日、農協改革の期限が目前にせまるなか今後のJA自己改革完遂に向けた職員研修会を開催した。改革を進める上で職員の人材育成が重要となっている中、今回の研修では総合JAの強みを理解し、長年に渡って地域一体で築き上げてきた飛馬ブランドを維持発展させるため、職員一人一人が何をすべきかを考えた。今後も組合員や地域住民がJAの役割に理解を得られるよう、研修を続けていく方針だ。

3回に分けて職員研修が開催された